

視点を変えれば、 世の中は変わる。

たとえば

半分だけ水の入ったコップを見て、
もう半分しかない、と思うか、
まだ半分もある、と思うか。

視点を変えれば、

世の中の見え方は変わってきます。
当たり前だと思っていたことでも、
違う視点から見つめ直してみると、
新しい発見があることがあります。

Rethinkフォーラムは、
一人では気づけない

新しい視点に気づくことで、
地域活性化のきっかけを見つめる場です。

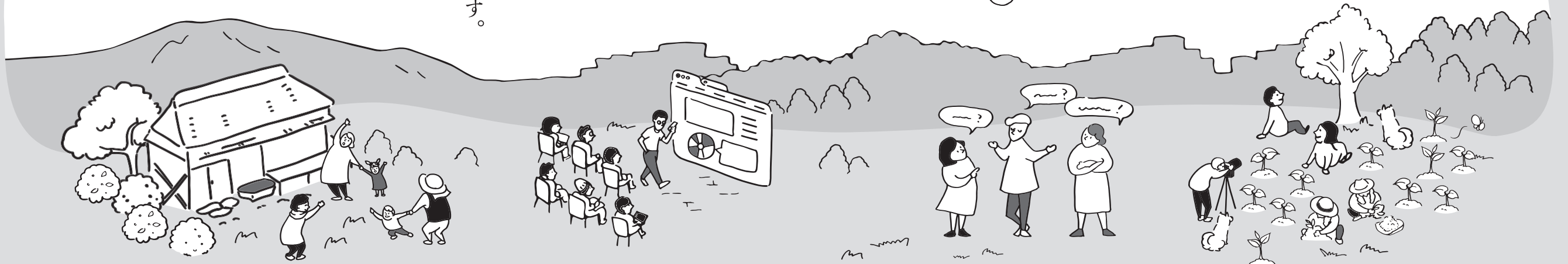
視点を変えれば、世の中が変わる。

地域が変わる。

未来を変える発見は、

意外と身近に

あるのかもしれない。



「Rethink群馬～心と身体を癒す『リトリートの聖地』を目指して～」(上毛新聞社主催、群馬県、群馬県教育委員会、前橋市など後援、Rethink PROJECT協賛)が10月7日、前橋市の上毛新聞社本社「上毛ホール」で開かれました。第1部はお笑いタレントの南海キャンディーズしずちゃんさんが「私らしく挑む視点」をテーマにトークを展開。第2部は、群馬県の山本一太知事と群馬県出身・在住モデルの横塚沙弥加さんが加わり、「Rethink群馬～心と身体を癒す『リトリートの聖地』を目指して～」をテーマにしたパネルディスカッション。群馬を舞台にした新しい旅のスタイル「リトリート」とその魅力・価値について語り合いました。要旨を紹介します。

ゲスト



南海キャンディーズ
しずちゃん氏 (お笑いタレント)
演題：私らしく挑む視点

1979年大阪府出身。2003年、山里亮太さんと南海キャンディーズを結成、「M-1グランプリ2004」で準優勝を果たし注目を集める。2006年、映画「フラガール」に出演し、第30回日本アカデミー賞の新人俳優賞を獲得。お笑いだけでなく、舞台・映画等の女優業やCMなど幅広い分野で活躍中。

絶望からの挑戦

生まれたときの体重が5000g。子ども時代、「おニャン子クラブ」に憧れて「アイドルになりたい」と思ったんですが、予想以上に体が大きく成長してしまい、コンプレックスになってしまいました。体の大きさについて、周囲からあれこれ言われるうちに自己否定し内にもりがちで、短大卒業後も就職せず落ち込んだ気持ちを抱えバイト生活。

そんなとき、「落ちるところまで落ちたから、後は上がっていくしかない」と、憧れていた芸能の世界へチャレンジしてみようと思ったんです。

「モーニング娘。」をはじめ、いろいろなオーディションを受けたものの落選続きで、劇団養成所に入りました。制約なしの自由な演技が求められる授業では、関西人ゆえ「笑かきなあかん」という意識が自然に働き、実はお笑いをやりたいのだと分かったんです。

★ 発想の転換が呼んだコンビのブレイク

吉本の養成所に在籍していたことのある中学時代の同級生に声をかけ、コンビを組んだのが始まり。その後、別の男性と別のコンビを組んでやっていたんですが、男前だったので異性と意識してしまいがち。「ネタづくりの邪魔」と思っていたときに、山ちゃんから「一緒にやらないか」と声を掛けられ、「こいつなら大丈夫

(笑)」と思ってコンビを結成しました。

実は私たちは2人とも「ボケ」なんです。最初、2人でボケていたら、全くウケない。解散を考えていたときに、山ちゃんが「普段の性格的に冷静に考えたら自分にはツッコミが合っている」と言い、試しにM-1グランプリの予選に出たらウケるようになり、結成2年目に準優勝。私のボケに何かを添えることで、笑いを倍増させることができるという発想に転換したのでしよう。

その後は寝る暇もないくらい多忙な日々。ところが、仕事はどこか空回りしているようで、2人の仲はどんどん険悪になっていく。ストイックな山ちゃんには「ブレイクがいつまでも続くわけない」という危機感があって、のんびり屋の私に「もっとやらなあかん」と苛つき、私にも憎しみが生まれました。

それでも、私は映画「フラガール」で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞してからも、南海キャンディーズを辞めようとは思わなかったんです。お笑いの仕事があるからこそ、女優業やCMの仕事もいただけたと思っていました。

★ ボクシングへの挑戦から知った相棒の真意

ボクシングでオリンピックを目指したきっかけは、あるドラマでトレーナーの梅津正彦さんと知り合ったこと。鬼のように厳しい指導の下、寝ているとき以外は全てがボクシングの日々。「休んでいる暇はない、常にボクシングの動きを意識しろ」と言われ続けまし

た。

そんなときに、旅行したり遊んだりしている私に「24時間お笑いのことを考えろ」と語っていた山ちゃんのことを思い出したんです。彼は常にネタを考えたり執筆したりして、私にも実行を求めています。梅津さんの言葉と山ちゃんが語っていた言葉が重なったように思え、Rethinkがもしも山ちゃん、彼に対する見方が変わったんです。お互い別々のことをやり始めていたんですが、むしろ心は歩み寄っていくように感じました。

お笑い、女優業、ボクシング、絵画など、全く異なる分野のことに挑戦してきましたが、流れに任せて向き合ってきたので特にルールなどは決めていません。人との出合いを機に「これが運命」と感じたら、一気にのめり込む思い切りの良さはありますね。

テーマ「Rethink群馬～心と身体を癒す『リトリートの聖地』を目指して～」

パネルディスカッション出演者 南海キャンディーズ しずちゃん氏(お笑いタレント)、山本 一太(群馬県知事)、横塚 沙弥加氏(群馬県出身・在住モデル)、奈良 のりえ(フリーアナウンサー)

リトリートとは？

奈良 群馬県は、近未来構想の一つとして「リトリートの聖地」を掲げていますが、その狙いはなんなのでしょうか。

山本 一見耳慣れない言葉ですが、世界的な潮流です。日常を離れた土地で心と身体を癒し、リフレッシュすること。分りやすく言うと、長期滞在型観光戦略です。新幹線で1時間、雄大な自然と美味しい食材とスローライフが満喫できる群馬は、リトリートの聖地に相応しい。

しずちゃん リトリートという言葉、初めて聞きました。もっと知ってもらうため、「南海リトリート」にコンビ名を変えようかな(笑)。

奈良 それは心強い。しずちゃんは、群馬にどのようなイメージを持っていますか。

しずちゃん 泉質の良い温泉がたくさんあり、一度訪れた草津温泉は泉質も温泉街も素晴らしいと思いました。

山本 群馬県は日本一の温泉王国でして、最近、草津温泉は若者にも大人気。ほかにも伊香保、四方、みなかみ、万座など、宿泊可能な温泉地が100か所もあるんです。

奈良 県内津々浦々のレポートで活躍している横塚沙弥加さんは、群馬の魅力についてどう思いますか。

横塚 「群馬のここが魅力」と思うポイントが三つあって、まず自然の豊かさ。群馬でモデルをしているのも、自然に囲まれて仕事をしたいという思いが原点です。二つ目は、とにかく野菜が美味しいところ。道の駅や農産物直売所がたくさんあり、採れたて野菜を安く手に入れることができます。三つ目は、親切でやさしい県民性です。

魅力的なコンテンツの多彩さがほしい

山本 群馬を訪れる観光客の7～8割は首都圏の人々。なかでも現役世代の忙しい人を対象に、群馬の魅力を生かした3泊4日の旅プランを販売しているんですが、なかなか難しい。何かアドバイスはありますか。

しずちゃん 1日に一つだけイベントを決めておいて、後はある程度自由に動きたい人と、回る場所がはっきり決められたツアーが好きなのもいますね。

横塚 私は、選択肢の豊富さがポイントだと思っています。例えば、朝のヨガ、星空を眺めるチェアリング、サップ、木登りとハンモックなど、1日の中で選択しながら自分の好きな過ごし方をするというプランもほしいですね。

山本 2人の話を聞き、一つ一つのコンテンツを磨き、選択肢を増やしていくことが大切なのだと思います。

奈良 癒しという、どのようなものを連想しますか。

しずちゃん 一人旅、特に山など誰もいないところに行くのが好き。そういうところに行く、動物になった感じがします(笑)。

横塚 安中の腐線ウォークは、真っ暗なトンネルを抜けると、抜群に美しい紅葉が広がる癒しポイント。水上の犬ぞり体験もリラックスできます。

奈良 2人の話を受けて、どのような方向性が考えられますか。

山本 長期滞在型観光戦略には、ソフト・ハード両面の整備が必要ですね。群馬にしかない食材、山の幸を味わってもらいたいし、有機農業の振興にも力を入れる予定です。ハード面では、前橋にある群馬フラワーパークを大きくリニューアルさせるとともに、アウト

ドア企業と組んで赤城山の開発にも乗り出します。

無になる時間、そしておもてなしの気持ち

奈良 熱いアピールありがとうございます。長期滞在型という、アーティストとしてアイデアを出すための旅にも適しているのではないのでしょうか。

しずちゃん 東京で暮らしていると、常に「何かせな」とせっかちなりがちですが、ただ緑を見る、ただ太陽が沈むのを見る、といった時間が必要。何かを生み出すひらめきも、無になる時間があるからこそですね。

山本 群馬県では全体の支出のうち一定の割合をアート振興に充てるという条例を全国で初めてつくったんです。これもリトリートにつながるはずだと思っています。

奈良 子育てとリトリートという視点から、なにかアイデアがありますか。

横塚 1歳の子どもがいると、自分一人だけで連泊するのは難しいから、家族みんなで楽しめる仕組みが基本。例えば、1時間の託児スペースがあって、ゆっくり夕食が食べられたらリピーターになるかもしれません。

山本 家族連れに長期滞在してもらうには、小さな子どもをサポートする仕組みをつくることも必要。宿泊施設でのペットとの共生についてももっと充実させたいと思います。

奈良 リトリートの聖地とは、まさに心と身体が幸せな状態のことなんですね。

しずちゃん この空間が私めっちゃくちゃ癒されてます今日。これが

らも皆さんと共にウェルビーイングで、リトリートして、トゥギャザーしようぜ。

山本 やっぱリトリートの精神は、おもてなし。おもてなしの気持ちこそが、群馬の強みだと思いますね。

